

ようすがわかるように

年 組 名前

☆ 日本語には、ものの音やどうぶつの声をあらわしたことばがあります。このようなことばを文の中でつかうと、そのときのかんじやその場のようすがよくわかります。

1、つぎのようなときは、どんな音や声がしているのでしょうか。

--	--

の中に、合うカタカナを書きましょう。

かみなりが

--	--	--	--	--

となっている。

雨が

--	--	--	--

とつよくふってきた。

アヒルが

--	--	--	--	--

と鳴いている。

ハチが

--	--	--	--	--	--

ととんできた。

2、つぎの音をあらわすことばをつかって、文を作りましょう。

ピユウピユウ

--

バシヤバシヤ

--

ようすがわかるように

年 組 名前

☆ 日本語には、ものの音やどうぶつの声をあらわしたことばがあります。このようなことばを文の中でつかうと、そのときのかんじやその場のようすがよくわかります。

1、つぎのようなときは、どんな音や声がしているのでしょうか。

--	--

の中に、合うカタカナを書きましょう。

かみなりが

ゴ	ロ	ゴ	ロ
---	---	---	---

となっている。

雨が

ザ	ー	ザ	ー
---	---	---	---

とつよくふってきた。

アヒルが

ガ	ー	ガ	ー
---	---	---	---

と鳴いている。

ハチが

ブ	ー	ン	ブ	ー	ン
---	---	---	---	---	---

ととんできました。

(ブンブンブン)

2、つぎの音をあらわすことばをつかって、文を作りましょう。

ピュウピュウ

風がピュウピュウふいている。

バシヤバシヤ

ぼくはバシヤバシヤおよいだ。